NEWS RELEASE

株式会社あらた
〒135-0016
東京都江東区東陽６丁目３番２号
2026 年 10 月 28 日

2028 年春「関西新センター（仮）」開設に向け建物が竣工
～最新鋭マテハン導入による物流効率化の実現と、安全で働きやすい環境整備を両立～

日用品・化粧品等の卸商社である株式会社あらた（本社：東京都江東区、代表取締役　社長執行役員：東風谷誠一、以下「あらた」）は、2024年7月29日に新設契約の締結を発表した「関西新センター（仮）」（大阪府大阪市東住吉区／2028年春稼働開始予定）において、専用施設として入居する日本GLP株式会社のBTS（ビルド・トゥ・スーツ）型物流施設「Marq　大阪4」が本日竣工いたしましたのでお知らせいたします。

本センターは、当社が推進する「中期経営計画2030」の成長戦略を支える関西地区最大の配送拠点です。最新鋭のロボットやマテハン機器の導入により、トラックの荷待ち時間短縮や積み下ろし・仕分け作業の効率化を図り、労働力不足への対応と働く従業員にも優しい環境整備を実現してまいります。



「Marq　大阪4」施設外観

■執行役員　関西支社長　清水　雅之　コメント

「当社は『Marq　大阪4』を関西最大級の配送拠点となる『関西新センター（仮）』として活用し、2028年春より稼働開始予定です。当社が推進する物流における省人化の取り組みの最先端技術を導入し、物流オペレーションの効率化を図りながら、地域の豊かな暮らしに貢献します。事業推進を通して、今後もあらたな価値を提供してまいります。」

当社は今後も、最新鋭マテハンを装備し、労働力不足に対応した省力化・省人化センターを配置することで、変化する人々の暮らしに寄り添い、いつ・どんなときも必要な商品を安定的にお届けしてまいります。

■施設概要

拠点名称：株式会社あらた「関西新センター（仮）」
入居施設：Marq　大阪4（1棟全体を利用／BTS型）
所在地　：大阪府大阪市東住吉区矢田5丁目4-18
敷地面積：17,754.16㎡
延床面積：28,612.12㎡
構造　　：地上4階建て、耐震S造
投資額　：約100億円

■新センターのコンセプト・特長

①最新技術を用いた高度な物流オペレーションへの対応

・倉庫内保管エリアは構造ブレースの無い仕様とし、全面的な自動マテハン設備の設置に対応するほか、4層吹抜けの自動ラック倉庫エリアを計画することで、最新技術を用いた高度な物流オペレーションを可能にします。
・床荷重1.5t/㎡、有効天井高5.5mとし、最新鋭のロボットやマテハンを導入しての自動化に対応します。
・荷物用エレベーター2基を設け、施設内の効率的な物流オペレーションをサポートします。
・トラックバースはオーバースライダーの高さを全て5.2mとし、ウイングトレーラーによる入出庫にも対応します。荷待ち時間の短縮に加え、荷物の積み下ろしや仕分け作業の効率化を図ります。

②大阪市街地へのラストワンマイルと、広域配送を両立する優れた立地

・近畿自動車道「松原JCT」から約6km、阪神高速4号湾岸線「南港中IC」から約12kmと大阪内陸部と湾岸部の中間点に位置し、阪神高速1号環状線「西船場JCT」から約12kmと、関西広域および大阪都心の主要ICまで20～30分圏内に立地します。
・阪神高速大和川線や大阪市を南北に縦断する幹線道路に隣接し、市街地に立地する特性からラストワンマイル配送が可能なほか、和歌山・奈良方面への広域配送拠点としても機能します。
・通勤面では、近鉄南大阪線「矢田駅」から徒歩約10分、大阪シティバス「矢田行基大橋」バス停から徒歩約1分の距離にあり、大阪メトロ御堂筋線「あびこ駅」、JR阪和線「我孫子町駅」の複数駅からバスでのアクセスも可能なことから利便性が高く、雇用確保の面でも優れています。



③サステナビリティへの取り組み

・最新鋭のロボットやマテハン機器により省人化・省力化を実現します。
・物流業界の人手不足への対策として、荷物の積み下ろしや仕分け作業効率化の仕組みを導入しトラックの荷待ち時間の短縮を目指します。
・施設内にはLED照明、太陽光発電設備を設置予定であり、省エネルギーかつ再生可能エネルギーの利用推進に取り組みます。
・「ZEB Ready認証」および「BELS 6Star認証」を取得しており、今後「CASBEE認証」も取得する予定となっている高い省エネルギー性能を有した施設です。
・BCP面において、浸水を考慮した高さに受変電設備を配置し、災害時の被害を最小限にとどめます。

以上